

平成23年度 第3回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成23年8月1日（月）～8月15日（月）

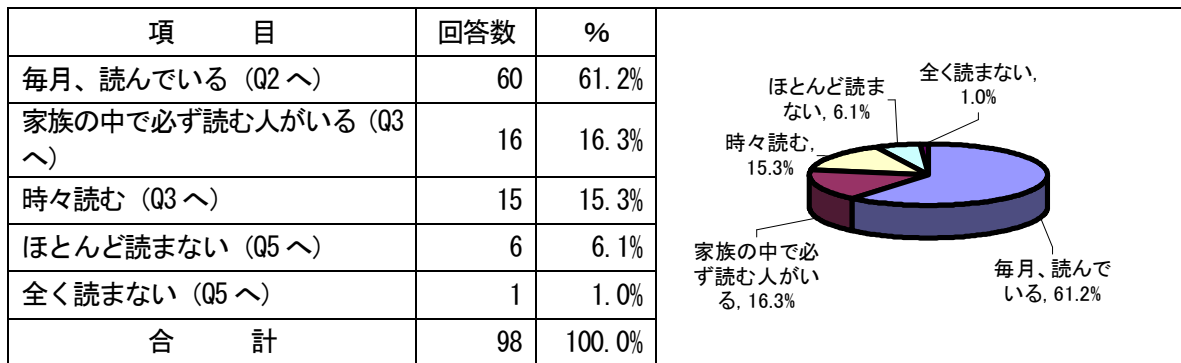
回収率 98%（98人／100人中）

（%は小数点第2以下を四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。）

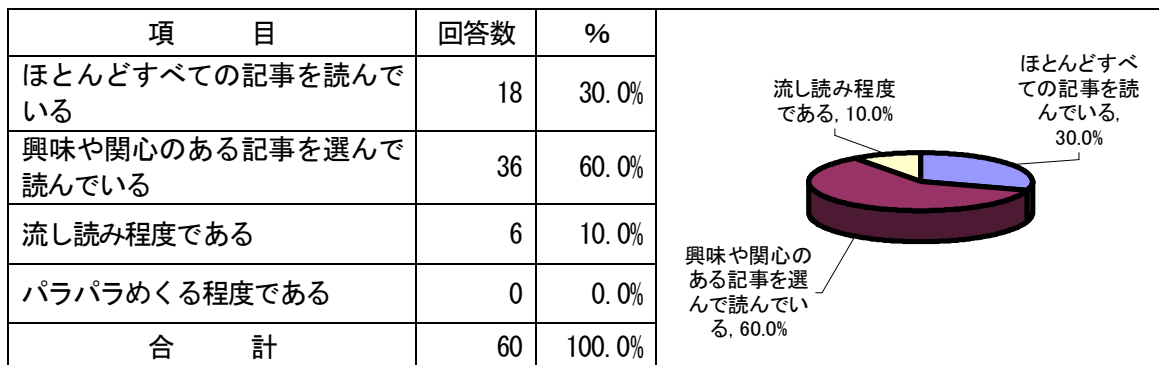
テーマ1 広報しんしろ「ほのか」について

新城市では、市民の皆さんに親しまれる広報作りを目指しています。

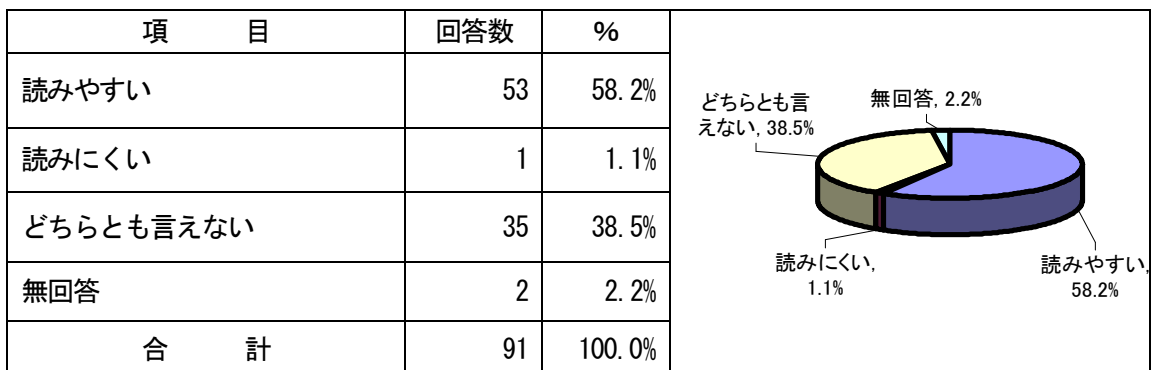
Q1 広報しんしろ「ほのか」を読まれていますか。（一つ選択）



Q2 Q1で「毎月、読んでいる」と回答された方にお聞きします。どの程度、読まれていますか。（一つ選択）

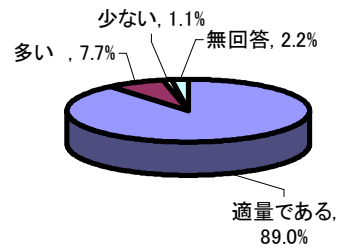


Q3 広報しんしろ「ほのか」を読んでみて、印象はどうですか。（一つ選択）



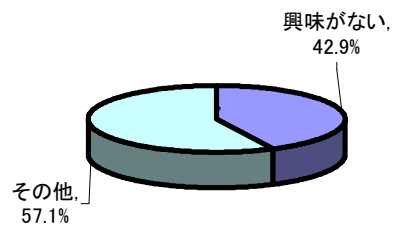
Q4 広報しんしろ「ほのか」の頁数についてお聞かせください。(一つ選択)

項目	回答数	%
適量である	81	89.0%
多い	7	7.7%
少ない	1	1.1%
無回答	2	2.2%
合計	91	100.0%



Q5 Q1で「ほとんど読まない」「全く読まない」とお答えいただいた方だけお答えください。読まない理由は何ですか。(一つ選択)

項目	回答数	%
興味がない	3	42.9%
読みづらい	0	0.0%
必要な情報がない	0	0.0%
その他	4	57.1%
合計	7	100.0%



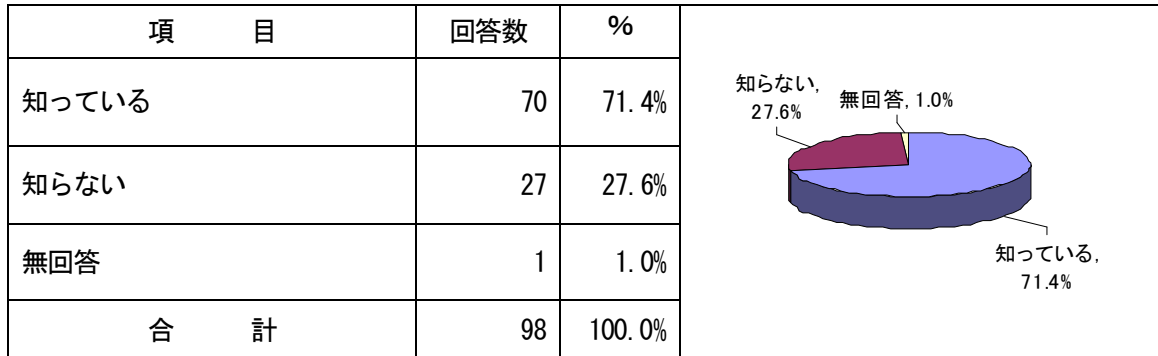
<その他>

- ・少し面倒に感じる。
- ・家族が読んでいる。
- ・時間がない。
- ・父が読んでいるみたいですが、自分は「ほのか」そのものを見たことがないので……。読んだ後、どこかにファイルしてしまっているみたいで……。

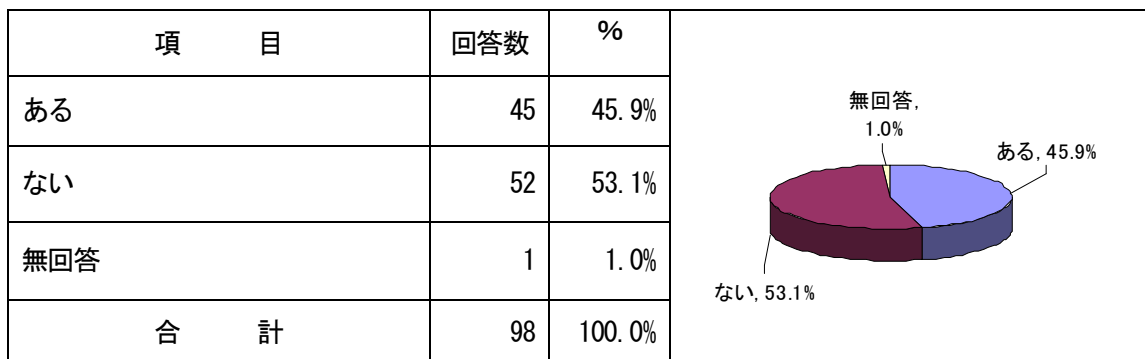
テーマ2 買い物難民について

豆腐一丁、ハガキ1枚買うのに不便を感じていませんか。日常生活の中でちょっとした買い物に遠くまで出かけなければならないことがあります。

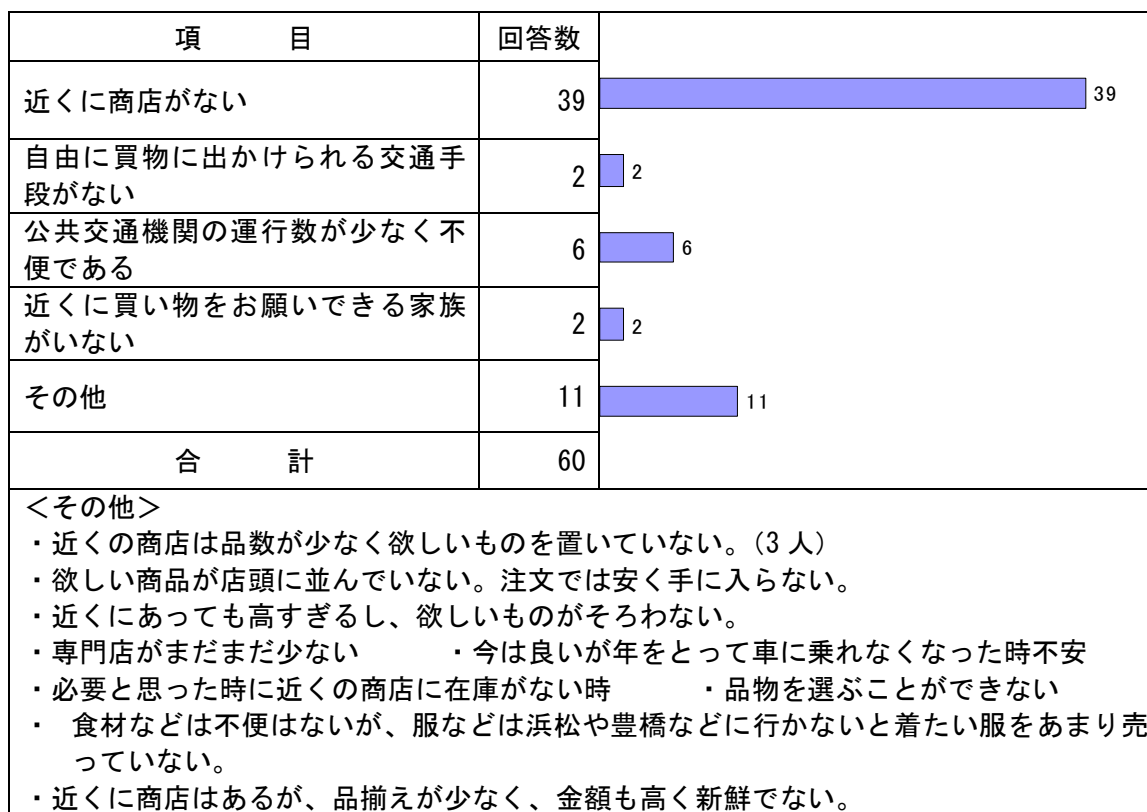
Q1 買い物難民という言葉をご存知ですか。(一つ選択)



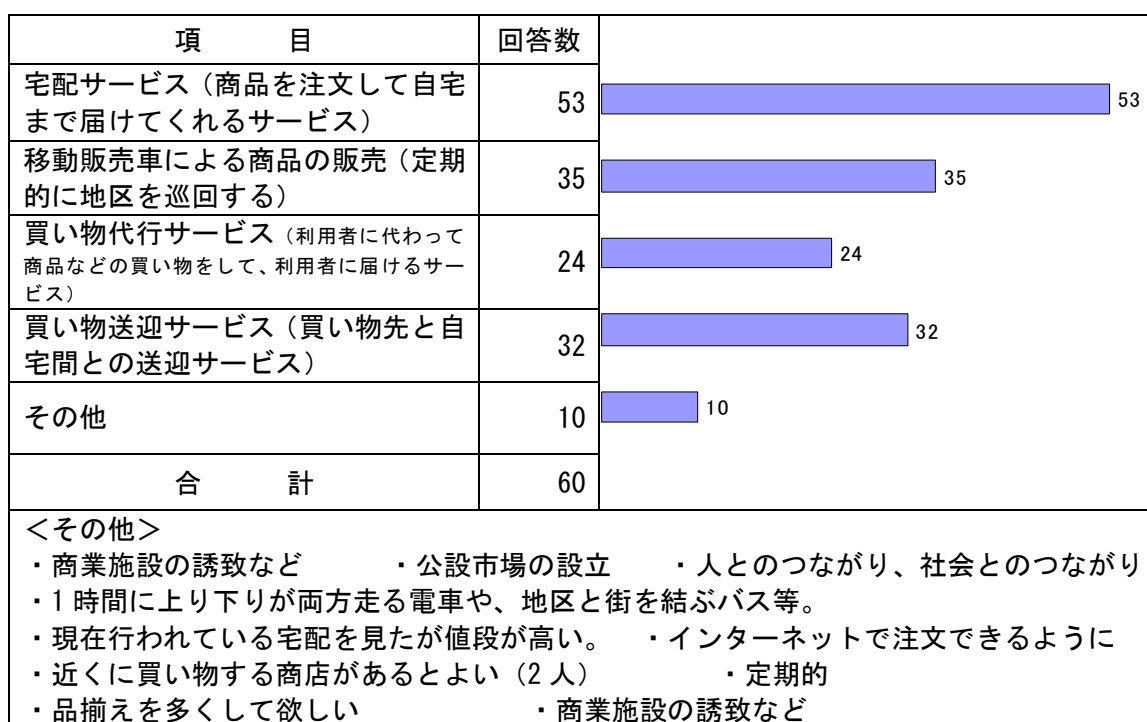
Q2 あなたは日常生活において、お買物で不便さを感じたことがありますか。(一つ選択)



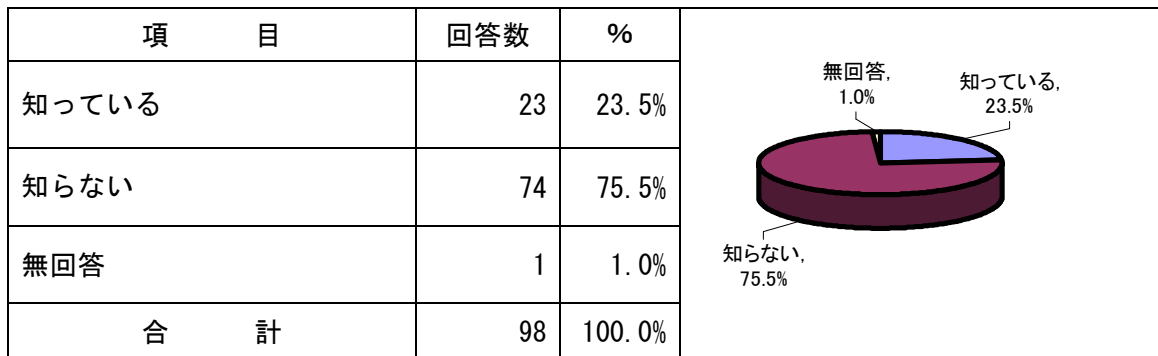
Q3 Q2で「ある」と回答され方にお聞きします。それはなぜですか。
(いくつでも)



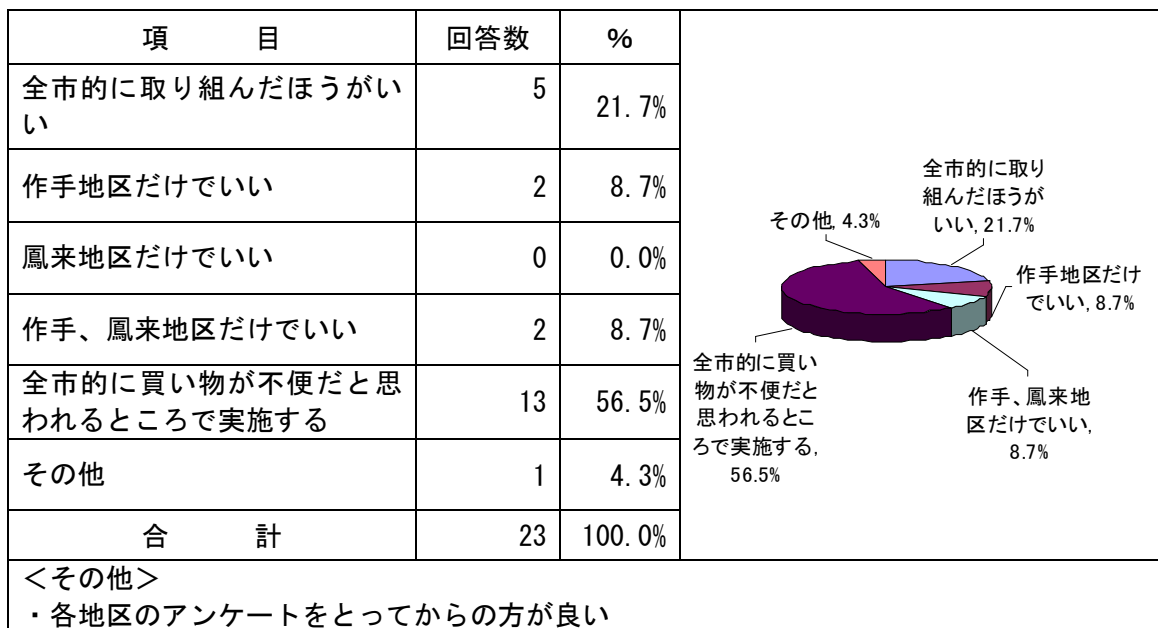
Q4 Q3での不便さを解消するためには、どのようなサービスがあったらいいと考えますか。(いくつでも)



Q5 作手地区で、買物難民の支援策として、宅配サービス、移動販売車による商品の販売の実証実験を実施していることはご存知ですか。(一つ選択)

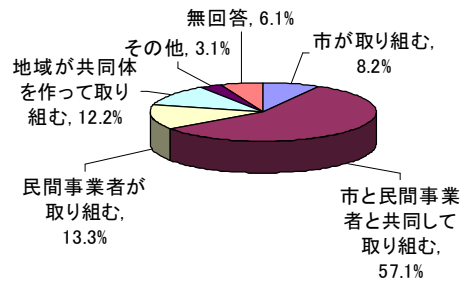


Q6 Q5で「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。この支援策は、どの地域で実施したらよいとお考えですか。(一つ選択)



Q7 この事業は、どのような形態で実施すればよいとお考えですか。(一つ選択)

項目	回答数	%
市が取り組む	8	8.2%
市と民間事業者と共同して取り組む	56	57.1%
民間事業者が取り組む	13	13.3%
地域が共同体を作って取り組む	12	12.2%
その他	3	3.1%
無回答	6	6.1%
合計	98	100.0%



<その他>

- ・それぞれどれでもよい。一つにすることはない。
- ・民間にてニーズとの関係を考えて
- ・実施ありきの考え方は見直すべき。採算がなければ、市が取り組もうが、民間が取り組もうがデメリットだらけ。

テーマ3 自治基本条例について

前回に引き続き、延べ500人の意見を聞いてまとめた「市民のことばによる新城市自治基本条例（たたき台）」で記述されている内容について、ご意見をお聞かせください。

今回は、「2 市民」というテーマです。5つに分けて質問させていただきます。

「市民のことばによる新城市自治基本条例（たたき台）」に、市民の定義・基本的な考え方として、次のような記述があります。

(1) 基本的な考え方

- ・市民全員がまちづくりの主役である。
- ・市民は、権利が保障されると同時に責任を併せ持っている。
- ・住民とは、市内に住所を有する者（外国人、法人も含む）である。
- ・市民とは、住民に加え、市内に住所を有していないが活動している者（在勤・在学、NPO・事業者など）である。

Q1 この「基本的な考え方」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・(1)基本的な考え方 に賛成できます。

・(3項目)私は市内に住んでいる人を基本とし、住所を有しない人は意見を聞くが、基本的な考え方にいれない方がよいと思います。

・「市民全体」というのは、少しおかしい。18才以上85才未満くらいが適当ではないか？

・「市民は、権利が保障される・・・」とあるが、何の権利かわかりません。また、「市民とは、住民に加え、市内に・・・」とあるが、(4)の住民投票ができるのか疑問です。

・「主役」とか「責任」ということばはまとめすぎているので、具体的に内容が分かりづらいと思う。子供でも分かるように訳さないで具体的なことばにした方がいい。

・「市内に住所を有する者」というのは、住民登録書の住所が市内の人ということでしょうか？また、「市内で活動している者」とありますが、例えば、豊橋に住んでいて、新城市の学校に来ていたら、新城市民ということですか？

・4項目共各々意義があると思う。

・4項目を読んだが、あくまでも基本的という事に対し問題はなさそうである。

・500人といっても、1部の市民の声、大勢は冷めている(自分も含めて)。冷めている層をいかに引き上げ考えてもらうか。有言実行、強いリーダーシップを出さなくては、そして実績を上げればついて行く。

・一項は削除した方がいいのでは？もし入れるとしても下段だと思えます。

・異論はない。

・多くの市民がいろいろ考えていることがうれしく思いました。1人1人の意見はすごく尊いです。

・同じ考えです。

・基本的な考えは、文章では分かるが、今の新城市では若い人がどんどんいなくなってしまうと思う。

・現実に居住しているものにかぎる。

・権利が保障されるがわかりにくい。何の権利なのか具体的には難しいと思うけど、いい表現が見つかるといい。

・権利が保障されると同時に責任を併せ持つ・・・責任の最低とは税をしっかりと納めさせていただく事でしょうか。

・広義的には問題ないかもしれないが、人種・国籍・思想等、現実の生活において発生する問題に対処できるよう配慮する観点も必要だと思われる。

・この定義で良いと思う。新都市に関わる人が全員でまちづくりをしようという間隔が伝わってくる。
・この通りで良いと思う。(31人)
・市内に住所を有していないが活動している者＝市民という考えに違和感がある(特に在勤・在学)。住民=市民という考えが強いので・・・(例えば市民税は現住所のある所で納めている等)。市内に住所を有していないが活動している者もサポーターとして位置づけてもよいと思う。
・市内に住所を有する者は住民及び市民ですから、1人1人がその権利を責任持って条例に従い行動をする。
・市のために小さな事から参加し、お互いが何らかの交流の場に耳を傾け、市民の声が届けられ、受け入れられたら一人一人がやがて主役として参加できるのでは。
・市民、住民の定義はもっと議論を要する。
・市民＝住民という感覚でした。市内に有していないが、活動している人については、定義が必要であると感じる。
・市民全員がまちづくりの主役である耳さわりが良いが、やはり責任を持っている議会にお願いしたいと思います。
・市民全員に、まちづくりの主役であるという意識があるとはあまり思えません。何となく受け身な人が多いと思う。
・市民それぞれ考えを出しあって意見をまとめるのはとても良い事だと思います。
・市民とは市内に住所を有し、権利と責任を併せ持っている人。
・市民とは新城に住んでいる人のこと。新城をよい町にしたいと思うことは市民にとって大切。よい病院、よい店がほしい。市民の願いです。
・市民のためにあるのが分かりやすい。
・市民の定義はまちがっていないと思います。でも市民の定義が基本的な考え方なのですか？
・市民は人材を持つ物に限るべき。法人、NPOなどは除くべきである。(責任所在不明)
・住民と市民の定義が少し分かりづらい気がする。
・住民とは、の所が少し気になります。カッコの中の外国人についてどう捉え、定義していくか慎重な議論が必要かと考えます。
・上記の基本的な考え方・・・全員が主役、権利と同時に責任を併せ持つ。また、外国人、法人、在勤、在学者も含むという考えに賛同します。
・全て納得いく考えだと思う。みんなが、そう思ってまちづくりに積極的になれるといい。
・全員が主役とは響きがいいがよくわからない。市長が主役でいい。2番は何の権利？何の責任？具体的に書いてほしい。
・全部正しいと思います。実行して行くには時間をかけ、多くの市民の理解を得てからの実行でなければならない限り無理です。
・代々続く小さな事業所だけど、次の世代(3代目)が後につづいてくれる事ができると良いが、1代目・2代目・3代目続ける事がむずかしいかな。
・近頃限界集落ということばを聞くようになりました。原因はいろいろあるでしょうが、まずこの問題の解決こそ本当の市民全員がまちづくりの主役であると思っています。日本全国で人口減少の傾向のある中で、さけては通ることができない部分もあると思いますが、人のいない所に市民はおりません。
・定義、基本的な考え方を明確化する必要性、目的が分からない。
・特になし。
・どこまで、市民の意見が聞いて頂けるのか？
・ボランティアで外国に出掛け、井戸を掘ったり、川に橋をかけている人達がいる。日本も今後はグローバル化に伴い(自分の町だけでなく)世界的な視野でチャレンジする人が増えると思う。従って市民の定義・・・等は、現行の法律(憲法)で充分ではなかろうか。
・むつきし過ぎて良くわからない。
・もっと市民と町が協力よくして、外国人とか住みやすい町づくりをするべき。
・良いと思います。新都市に関わる皆が協力していければ・・・。

・よくわからない。
・分からない(市民と住民のちがい)。
・概要なので、これで問題ないとは思いますが、一般化された言葉なのでこれが決まったとしても、市民はどうしたら良いのやらという気もします。掘り下げるとするならば、「市民の権利と責任とは？」という所だと思います。権利→選挙権や市が運営している福利厚生など？ 責任→納税や労働や教育？人それぞれ解釈があるようなものに関しては、市として市民に対してどのような責任と負い、そのような権利を与えるのか示した方が良いと感じました。
・基本的に良いと思います。住所を有していない方を加えているのが良いと思います。
・市内に住所を有しない者を市民とするのは、違和感がある。
・条例であるために、堅い語句が入ってしまうのかな？「責任」と「義務」、似てはいますが個人的には「義務」が相応しいと思います。
・新城市に関係しているすべての人が対象というのは、良いと思う。住所を有していない人も、新城に関心を持ち、良いところだなあ、住みたいなあ、引っ越してこようと考えられるようになればよいと思う
・新城市出身者なども含めて、新城の町が好きな人
・責任を併せ持っている→責任の意味合いが不明確、何の責任なのか？
・定義にとられる必要はないと思います。特に権利や責任などという用語は使用しない方がよいのではないでしょう。市民が街づくりの主役である、で十分ではないでしょうか？住所の有無に関係なく、本人が新城市民だと思えばそれでいいのではないのでしょうか？基本的にはだれでも構わないという意味に解釈すればそれでいいと私は思います。
・二つ目の文において、何に対する責任かが見えないです。

新城市を応援してくれる人をサポーターとして位置づけ、次のようにまとめました。

(2) サポーター

- ・市内に住所を有せず、市内で活動もしていないが、新城市出身者や新城市を応援してくれる人・企業などは新城の支援者である。

Q2 この「サポーター」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・”市内で活動もしていないか”というと、市内で活動している人はサポーターに含まれないのか？と疑問に感じた。
・「応援してくれる人・企業」というのが具体的ではなく分かりにくい。
・「住所を有せず」という記述は良いと思う。市の事を応援してくれる人々や企業がいるという事はとてもたのしく感じる。
・Q1 の意見と同じ。
・いいと思います。(25人)
・位置付けとしては良いと思いますが、具体的に何を望むか・・・明確であると良いですね。
・多くの人がサポーターとして新城を応援してくれるとありがたいのですが、何を応援してくれるのですか？イベント？講演会？
・企業が支援者になってもらえたらいいと思う。安心。
・記述としてはよいと思うが「～人・企業など」の～の箇所については統一見解を持っていることが必要ではないか。
・基本語句の定義なので、特に意見はありません。
・高校野球の甲子園出場校などであれば、卒業生が全国からかけつけ、熱狂的な応援をしている。しかし新城市のサポーターは簡単には集まらないと思う。このたたき台が、市外から応援にかけつけたい内容であるかどうか勝負と思う。サポーターの位置づけなどは、皆が平等、同等に扱い共に働いていけば自然と発生する秩序がよいと思う。

・個人の金もうけのためだけの応援者でも、サポーターと認めるのか？又、その判断基準はどうするのか。詐欺が横行している昨今、人・企業を見極めることのできる人材の育成を望みます。
・この記述では新城市出身者であれば、新城市を応援しない。無関係の人までサポーターになってしまいます。いかがなものでしょうか？
・サッカーなどサポーターという言葉が浸透してきているので、応援してくれる、支えてくれる感じが伝わってくる。
・サポーターが積極的に関わられるように市民・住民が取り組む必要がある。
・サポーターが働ける場所なら、なおさら良いと思います。雇用の支援が一番では・・・。
・サポーターという位置づけはいらないと思う。正直、何をするのかイメージがわからない。新城出身の人だけを「準市民」として扱うのなら、まだわかる気がする。
・サポーターと位置付けることで何がかわるのかの記載がないのでいまいち意見しづらいのですが、職がなくて新城を離れた人が私の周りにもたくさんいるので、そういった人たちでも新城の市政、イベントなどに協力できるような制度が出来ればよいことだと思います。
・サポーターの位置付けとしては良いと思う。
・サポーターは今現在どれくらいいるのか？
・サポーターは指名なのか登録制度なのか分からないが、登録すればサポーターになれる旨の記述も必要なのではないか。
・サポーターは則をこえない。
・サポーターより市民の理解を得るのが先だと思います。
・サポーターをして頂く企業及び支援者、市の宝ですので、市民全体で感謝の意を表す事をするとう良いと思います。
・市内、住所、出身、問わずに支援いただけるのは、大変良い事だと想う。
・市内で活動していないのにサポーター？というのがよく分からない。
・市内で活動している市内に住所を持たない人もサポーターとして重要だと思う。
・市内で住所を有せず、市内で活動もしていないが、の文が分かりにくく思います。後の文面だけでも、新城を応援する人と分かるのでは？
・市内に住所がなく、活動もしていない人が市のサポートをするだろうか？具体的にイメージしにくい。
・市内に住んでいなくても、新城市のために支援・援助してもらえることはとてもありがたいことだと思う。地域の活性化にもつながると思う。
・市内は自然にサポーターはいるが、市外地にはなかなか足を運んでくれる方が少ない。
・市民にとって、大切な存在であると思う。
出身者だからと言って、サポーターでは無いと思う。文面を考える必要？
・上記住民の定義からすると(住民とは、市内に住所を有する者である)、住民のサポーターが存在しないように思える。
・新城市出身としても、何の関心も持たなければ、サポーターで無いと思う。
・新城出身者の物心両面で新城市のため、尽力するのは人間として当然の感情です。市民の1人として努力したい。
・新城大好き人間ですが、習い事や生涯学習の関係(大学、大学院)で浜松へ行くことが定期的にあります。公民館等の利用で認めてもらえるとうれしい気持ちになり、つながっている喜びを感じます。このようなサポーターとしての応援隊を増やすことは、とても良いことだと思います。
・新鮮な考え方が導入できてとても良いことだと思います。
・スポーツでもサポーターの存在は大きいので、良い表現だと思う。これからも、サポーターが増える様、魅力的な新城になるといい。
・その通りです。新城市出身者で成功者にどしどし応援及び意見を聞くように手広く調査する必要あり！！

・その通りですが、どのような応援や支援をするのかイメージがわかりません。
・そんな人がいるのか分からないが、いるならやってもらえばいいと思う。
・地域のためにサポートしてくれる人ならどなたでもよい。ただし、特定の目的をしめず団体、個人を除く。
・定義が必要。
・遠く離れている人達古里を思う思いは強い。この協力者こそ、必要かつ率直な意見が開けるのでは？
・特に新城市出身に期待します。新城は大切なふるさとです。新城を離れ都会で生活していると、ふるさととはとても尊いものです。新城出身で立派に活躍されている方もたくさんみえます。素晴らしいサポーターになれると思います。
・年寄りになると、サポーターの意味自体がわからないのではないかと？
・とても良いと思う。地元出身で、活躍している人もいます。
・どの程度の応援や支援なのかを明記してほしい。
・幕末の外交官の1人岩瀬忠震という人物がいました。この人は残念ながら新城の生まれではありませんでした。しかし、地元では忠震会という団体があり活動しています。新城の生まれではないのに、なぜ活動ができるのか、それは新城にゆかりの人物である為です。今 NHK の大河ドラマは江ですが、そしてその夫の徳川秀忠の生母は西郷の局といって、隣の石巻に大変ゆかりのある人物で、その先夫は竹広で武田軍と戦い死亡しています。又その石巻の本城の子城が富岡の五葉城です。大河ドラマのゆかりの地が新城には2ヶ所もあるのです。こうしたゆかりを大事にして行けばサポーターの意義も大変重要な役割と思っています。
・身近でお祭りの時や体育大会の時などに企業を回って寄付など頂いているが、そのような時だけ協参してもらうのではなく、本社が市外でたまたま事業者が新城にあるので行事の時サポーターになってもらうので、地域とのつながりも大切にしていってはどうでしょうか。
・よく聞く言葉囲碁で横目八段。新城市出身者や新城市を応援してくれる人を歓迎します。
・応援と支援の違いが良くわかりませんが、個人で支援してくれる人はどこに位置づけられるのか考えてしまう。
・記述は適切ですね。その様な方は歓迎しますし、多いほど良いのではないですか。
・考え方は良いと思いました。サポーターを希望する方は積極的な方が多いと考えます。いろいろな良い意見が採り入れられると思います。
・私も3年ほど前までは名古屋に住んでいたが、やはり地元はとても気になるものです。大切にしたいと思いつつ、関わることはない…というのが現状です。嫁いでからも、新城はふるさとなので、新城を離れていても、つながっていると感じられて良いと思う。
・上記でも書いたように、だれでも構わない。支援したい、新城が好きだ、それだけで充分と思います。
・新城市出身者が必ずしも新城の支援者ではあると限らないので、新城市出身者は「新城市出身者」でいいのではないのでしょうか。もしくは、「新城の支援者である」という書き方ではなくて、「新城の支援者として認められる」、「新城の支援者と見なされる」というような書き方はどうでしょうか。
・新城市出身者や新城市を応援してくれる人・企業などは新城の支援者である。→新城市を愛している人々を含む。
・特にサポーターとか区別をしなくてもいいと思いますが・・・

新しく新城に来た人に着目し、より住みやすい環境を作り出すための意見を次のようにまとめました。

(3) 転入者・新しい人

- ・ 田舎の排他性を取り除き、外から入った人にも開かれた雰囲気をつくる。
- ・ 転入者が住みやすい地域づくりを心がける。

Q3 この「転入者・新しい人」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

- ・(田舎の排他性を取り除き・・・)とありますが、市の全体が田舎なのでしょうか？1部分が田舎とするなら、どこでどのような排他性があるのでしょうか？実状の調査もなく(田舎)→(排他性)と決め付けて記述したのなら削除して欲しい。排他性といっても、その土地の文化、伝統技術に由来するのも少なくありません。たたき台の雰囲気づくりや心がける、だけでは新展開は難しいと思います。
- ・「新しい人」だと少々とげがあるように感じる。
- ・「田舎の排他性を取り除き・・・」の文章はない方が良いと思う。現状は上記のような地域であることを認識しているのなら、それを改善する具体的な方法を考えるべきである。
- ・「住みやすい地域づくり」を具体的に記述したほうが良いと思う。意見をまとめるだけでなく、実際にできているのか疑問に思う。
- ・「転入者・新しい人」でなく、現住民が住みやすい町である事が最も重要と考えます。
- ・「排他性」の意味が分からない人が多いのではないかと？誰にでも理解される言葉に変更した方がいい。
- ・「開かれた雰囲気」・・・非常に難しいと思う。誰がこの雰囲気をつくるのか？
- ・表現方法が、今一つ・・・。
- ・26年住んでいて転入者を受け入れにくい新都市に永く住んでいる人たちの体質を感じる。転入者の住みやすい地域づくりは大切だと思う。
- ・2番目の項目については、当たり前のことであって、まとめて文章化するのは結構ですが、具体的にどのようにして動くのか、動いていることを願うだけです。
- ・Q1と同じ。
- ・新しい人＝比較対象のある人であるため。新城の良い所、もっと〇〇なら良い・・・等、転入時アンケート等があると良いのではないかと。
- ・新しい人という表現が、「よその人」のような印象をうける。
- ・新しい人と記載に不信感を感じます。今までは差別を感じるもので、上記の「田舎の排他性・・・」の記載を無くした方が良いのでは？
- ・いいと思う。(4人)
- ・田舎ですが干渉しすぎず、隣近所の顔は知っているから安心して住みよい所と教えてあげたい。水がおいしい、緑が多い。
- ・田舎特有の「よそ者」扱いは、今でもあると思います。もっと若い世代が子育てできるようなまち作りをお願いしたいです。
- ・田舎の排他性の意味をいうか、言わんとする内容が分かりづらいし、私自身他の地域から来た者だが、余り感じた事はない。
- ・今一つ具体性がなくわかりにくい。
- ・受け入れる側だけ心がければいいものなのか。
- ・学校、病院、市役所の改革。
- ・慣習・しきたり等、現生活では改めた方がよいこと、また一般常識では通用しないようなこともある。その土地に新しく転入した人にとっては、開かれた雰囲気とすることはなかなか難しい。「新しく来た人が住みやすい」地域づくりの方に重点を置いた方がよいと思われる。

<p>・来るものは拒まず、去るものは追わないと言っておきながら、「転入者・新しい人」と区別するのは矛盾していると思う。自然体でいいと思われれます。</p>
<p>・ここは記述に留まらないためにも、もっと具体的な内容が必用ではないのでしょうか？ 転入者へのアンケートなども必要ですし、望んで入ってくる方ばかりでは無く、企業の転勤者なども多くいるし、より多くの方々が積極的に参加したくなる手段が必要になります。</p>
<p>・個人的な意見ですが、新城市は近隣の市町村に比べても住みやすい環境であると思う。ただ、車を運転することが出来ない方が転居した場合、不便に思うことが多々考えられる(市街地を除く地域)。そのため、住みやすい地域づくりをすることは大切だと思う。</p>
<p>・言葉としては良いですが、現実には田舎の集落は他者が住みつく事にやさしくは無いですよ。</p>
<p>・子供が産まれて、色々な付き合いが出てくるとやっとその土地になじんできたかな・・・と感じますが、子供のいない若夫婦などや親戚等のいない新規参入者には、その土地で築いていくためにけっこう苦勞があることを地元住民さんには十分にわかっていてもらいたい。</p>
<p>・今後ますます限界集落が増え続けそうな新城において転入者・新しい人は宝物です。その考え方を広げて行けば、おのずと迎え入れる人はどう動けば良いか視えてくるはずです。転入者ですでに差別化しているようで、好ではありませんが・・・。</p>
<p>・市外地は、まず交通手段です。車(自家用車)以外交通便がない車に乗れない人は困る。</p>
<p>・地元の人から見ると何年たっても「転入者、新しい人」と言う見方は変わらない。記述はこの場合適切だと思う。</p>
<p>・新城が住みやすいと感じてくれるとうれしいです。しかし地域によっては坂が多く、車がないと不便さを感じるのも現実です。</p>
<p>・新城市で暮らしていこうとしている人を受け入れていくことは良いと思う。ただ、1部の所で新しい人には家をたてさせないとか、地区に入れられない所があると聞いたのですが・・・。ウワサかもしれませんが・・・。</p>
<p>・新城の事を理解して転入して来た者でないと、定住はむづかしいと考える。転入者全員に合致するような地域づくりは不可能。</p>
<p>・新城はよい所です。自然の美しい、災害の少ない所。新しい、古い人協力したい。</p>
<p>・新城への転入者が増えるためにも、良い事だと思う。</p>
<p>・親睦会等を用いたコミュニケーションを深める事。</p>
<p>・先日名古屋市は東日本大震災の中学生を招き交流会を開きました。そして、東山動物園や中日球場を見学させたといいます。8月の社協だよりには、被災地に職員派遣の記事ものっていました。この機会に、派遣先の小中学生を招いて大々的に新城市をPRすれば新城がどのような場所か新しい意見があれば転入者だって安心して住みやすい地域づくりができるのではないかと思います。</p>
<p>・その通り。</p>
<p>・その方が良いと思います。自分は新城市に越してきて1年になりますが、排他的な住民性は今のところ感じたことがありません。仮にそういった住民性があるとするならば、雰囲気を作るより、転入者が増えるような方針をとり、転入者の多い地域を増やすことで新しいコミュニティーができ、住みやすい地域になっていくのではないのでしょうか？</p>
<p>・地域・地区の方々が平等に受け入れてくれる環境が整うと良いと思う。昔からの流れでの行事や地域のつき合い方など、閉鎖された感じがあると、いつまでも「新しく来た人」「よそ者」みたいな雰囲気が残ります。</p>
<p>・地域資産の利用などについて、一定の期限をもうけて財産の利用ができるようにする。特に区の財産など。</p>
<p>・地域性というものは、新城市内各地にあると思いますが、「排他性」というものも現在あるのでしょうか？各人の出身地や個性などお互いに認めたくて、共になにかをしったりついたりする、というスタンスが大事なのではないのでしょうか。</p>
<p>・地域の活性化につながる事があれば良いと思います。</p>
<p>・出来れば、出身地区に分けて「同郷会」みたいなものを作ってはどうか。</p>

<p>・転勤で新城に転入してみえた方が、新城は人も親切で住みやすいから、永住したいというのをよく聞きます。国際交流活動や転入者を受け入れる活動に心がけていると思います。</p>
<p>・転入者、即、市民である事ですので前住地区の良いと思われる事を聞き、取り入れ出来る事は実行する方向で行政が動くようにしてほしい！！</p>
<p>・転入者が水道料の高さにまずびっくりしています。なぜ水源に近い新城市が他の市より高いままで何年も経過しているのか。情けない状況だと思います。</p>
<p>・転入者が住みやすい地域づくりというのはむずかしい。新しい人の新しい考えが受け入れられる風土が必要。新しい人に受け入れられるには、古くからの慣習を大幅に見直す必要があり、新城全体が田舎という感覚から生まれ変わる必要がある。</p>
<p>・転入者という人達は不安が多いと思う。我が家も以前は転入者だったが、最初は新参者と言われ地区でつらい思いをした経験があるので、この市は内向的な所なのだろう？と、とても不思議に思った。</p>
<p>・転入者には親切に優しく接するべきだと思う。多くはないと思うが、未だに排他的な考えの人がいて悲しいことだと思う。他者を受け入れる広い心の人が増えれば新城は良い街になると思います。</p>
<p>・転入者の住みやすい地域づくりを心がけるのは、とっても大切だと思いました。</p>
<p>・転入者は分かるが、新しい人はひかっている。「新住民」の方がいいと思う。</p>
<p>・特に田舎の地区は、昔ながらの人が多く、なかなか受け入れ方がまちまちなのでは・・・。</p>
<p>・特になし。</p>
<p>・とても良いと思う。が、心がけるのではなく実行するものであってほしい。まずは、市民病院、保育の整備等しっかりしなければ転入してくる人はあまりいないと思う。</p>
<p>・長い間新城に住んでいる人に意見を聞くのが先だと思います。</p>
<p>・福島県をはじめ、東北地方の方に雪のない生活・しやすし空家・休耕地を活用し新城への移住を呼び掛けては。</p>
<p>・雰囲気は大事だが、それだけで転入者が増えるとは思えない。よほど大きく産業が発達したり、レジャー施設、アウトレット誘致するとか、安定収入が見込める求人が増えれば別だが。</p>
<p>・昔からのしきたりなども理解してもらいたいと思う。</p>
<p>・難しい質問です。人々の価値観は、それぞれですし、アウェイに対して特に対策は不要な気がします。来るものこぼまず、去るもの追わずでかまわないと思います。</p>
<p>・もっと新しくきれいに住みやすいところにするべき。</p>
<p>・よそからきた人…と言われがちなのはまだ根強い。言葉では簡単だけれども…。いまいちわかりづらい。どのようなことが開かれた雰囲気なのでしょうか？年配の方に伝わるのかな？</p>
<p>・わかりきった定義を記載する必要があるのでしょうか？</p>
<p>・分かりやすい記述だと思う。友人で、県外から嫁いできたけど、馴染めず引越しました。特に、小さい子供がいる転入された方など、友人を作りやすいよう情報提供をするといい。(市役所に手続きに来た時とか一緒にイベントや児童館などの情報提供する。)</p>
<p>・私が転入者です。これから転入する人にも住みやすい新城と思ってもらえる様な地域づくりを心がけたいです。</p>
<p>・私自身、名古屋から転入し、20年が過ぎました。20年が過ぎましたが、確かに同じ日本人でありながら都会の人と田舎の人との文化の違いを感じる事があります。都会では近隣の人でも我関せずのところがありますが、新城の人はやさしく温かいです。その一方で、まわりの人の事に興味津々です。しかし新城にいた人が都会に引越し生活する事の方が大変ではないかと思えます。本当に皆温かく接して下さり、ありがたかったです。</p>
<p>・私の村にも新しい方が入って来ました。子供が3人いて、すごくうれしいです。小さな村にも明りがとれる感じです。いろいろな方(昔より12健増)の意見で今の村はすごく変わりました。新しい方での区を作っています。昔からのこだわりも、少しずつ消えてゆきます。これもいいかも知れません(少々淋しいけどね)。</p>

・私は市外からこの新城に来ましたが、まわりの人達が親切で、又、子供を通し地域の交流の場に参加し、今では実家より住みやすいと思い、地域がだれとでも(外国人)あいさつなどするので良いと思う。
・一方的に開かれた雰囲気を作っても権利ばかり主張し、義務を果たさない転入者・新しい人は歓迎出来ない。
・具体性がないですが、心構えとしては良いと思います。
・考え方は良いと思いますが、昔ながらの考え方の方がこのようなことが実際にできるか心配です。
・市内に住所を有せず、市内で活動をする人は、対象になるのでしょうか？ 住民に限定するのでしょうか？
・新城市の人口は増えたほうが良いので、転入者が集まりやすい環境をつくるという表現が必要と思う。
・地域住民は転入者に対し、転入者は地域住民に対し親しみを持って接する事が大切。
・転入者が住みやすい地域というか、まちづくりをまずしないとダメかなあと感じます。今の新城は仕事もないし、病院もろくにないし、アパートやマンションも豊川、豊橋に比べて少ないので、新城に住むメリットがないです。。
・転入者などが安心して、相談などを持ちかけられる。人の繋がりが出来る町にしたい。
・転入者の環境づくりのために、たたき台に表記したところで地域の人の中々変化してくれない場合が多いと思う。表記するかぎりは地域から変えていく仕組みが必要だと思います。
・田舎が排他的である、というのは偏見ではないでしょうか？また、田舎とは都会とはどういう意味ですか？人の住む場所を比較すること自体がおかしいと思います。ましてや転入者と前から住んでいる人と区別すること自体、それこそ、田舎の考え方？
・排他性・・・なかなか、できない人が多いと感じます。

市民が参加できる制度と行政の責務について、次のようにまとめました。

(4) 参加できる各制度

- ・市民は、パブリックコメント、審議会、市政懇談会、フォーラム、ワークショップ、アンケート、住民投票などを通じて市政へ参加する。
- ・市民が地域活動、市民活動に参加しやすいように、行政は活動場所の確保や財政的支援をすすめる。
- ・行政は、市民に対して説明をする責任、質問に答える責任を持つ。

Q4 この「参加できる各制度」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・(一項目)市民の参加は行政内とかおしゃべりをする会なども取り入れ、市民が参加しやすいようにしてほしいし、誰でも話せる場を考えてほしい。
・「市民に対して説明・質問に答える責任を持つ」ということが特に大切だと思う。
・1項目:難しい(意味)があっているかも 2・3項目:いいと思う。
・Q1と同じ。
・新しく入ってきた人で、組のつきあいをしない人がおりますが、いいのでしょうか。
・いいと思います。(15人)
・一市民として、どこかで市政に参加できたらと思っています。
・一般市民には、この記述から参加への気持ちが起きるかは微妙。
・色々参加できる事が書いてあってもイメージがわきにくいので、3つぐらいにしぼった方が良い。特に、「何が出来るか？」を明確にした方がインパクトがある。

・色々なかたちで参加に対する連絡等、防災行政無線など活用して流れているし、少しずつ行政の人達も市民の人達が参加しやすいかたちを取って下さっていると思います。
・異論はない。
・基本的な事なので、うまく機能してほしい。ぜひ、参加したいと思う。
・行政は、市民に対して、誰にでも分かるように分かりやすく説明する責任があると思います。
・具体的なつながりを示してほしいと思う。
・形式ばかりの行政の活動には、参加したいと思う気持ちがありません。
・この様にアンケートを行う事によって、市民の本音が集まると思う。
・財政的支援→市の施設で運動をしていたのですが、近年有料化になり運動する日・時間等を縮小したと聞きました。財政的支援、これは矛盾しているのでは。
・財政的支援とはどういう形の支援になるのでしょうか？行政は、市民に対して説明をする責任、質問に答える責任を持つとありますが、よく理解出来ませんでした。
・参加したい、できる人々にお願いして。
・参加したい人は興味を持つと思う。普段の生活で、自然に市政に参加できるとやりやすい。気軽にアンケート。など！
・参加できる各制度がいろいろある事を知りましたが、いつこの様な催しがあるか知りません。私の様な人が多くいるのではないのでしょうか。もう少し市民にPR、呼びかけがほしいです。
・参加できることはいいことです。
・参加できるのは良いことだと思います。説明は、事柄に伝えるだけでなく、事前から話し合ったり、意見を交換し合える場が良いと思います。
・参加できる場面や場所の確保も大切だが、市民の考え・思い・意見をどのように具現化していくか、その道すじをしっかりと作っていただきたい。
・市民が行政に参加できるのは良い事だと思う。
・市民が参加しやすいように行政がきちんとバックアップして下さい。
・市民が地域活動、市民活動に参加する為の宣伝も必要だと思う。せっかくの活動も、市民が参加しなければ意味がなくなってしまう。
・市民活動に参加しやすいように、財政的支援をすすめる。
・市民活動に参加しやすいようにというのも、もちろん大切ですが、市民が参加したくなるようにアピールも重要ではないのでしょうか。
・市民は以上の他、あらゆるところで自由に発言する。それを市長はよく聞き、政治に生かす。庁舎の新築など反対者多し。これが聞こえないで、新築を考えるアホラシさ。
・集会所など小さな会所でも個々に密着で本音が話し合えるかな？
・住民参加(各区一名)の集会などを開催して意見聴取と検証をくりかえす。
・住民投票が一番市民が何を考えているのか分かりやすいと思う。パブリックコメントなどという難しい名前は理解しづらい。
・上記の様な活動は、非常に良いと思います。
・条例には記述難しいかもしれないが、参加方法とか具体的な日時等、分かりやすく知らせることが必要だと思う。
・徐々に進めて行けば良い。
・全て、実行できるようなら、素晴らしい内容だと思います。
・責任と義務を負う。
・その通りだと思います。しかし、場を作るだけでなく、その場で話し合われた内容に対して、報告や所管を公表しなければ、市が市民の話を聞いてますというデモンストレーションにしかならないように感じます。
・大切な決め手は、住民投票が望ましいんですが、お金もかかりますし。何歳からとか、過大をクリアする必要が有りますね。
・他市町村の取り組みなども参考にして、制度と責務をしっかり位置づける。
・ティーズ、ラジオ等を大いに利用すべき。(豊橋等”FM”を使っている)
・ティーズのデータ放送に入れて見たい時いつでも見られるように。

<p>・時々市政懇談会に顔を出してみますが、出席者は大体決まった人々が多く感じられ、市民の市薄さがみえます。又せっかくの会なのに、市役所職員全員が出席できるようにして、その意気込みを見せてもらわないと単なる片道通行のようになっていないかと思えます。そして時間外手当等は廃止して財政を助けてください。</p>
<p>・特になし。(3人)</p>
<p>・とても良い視点と思う。しかし、仕事をしている人でも参加しやすい方法、時間帯等、なかなか実際に参加しにくい現状もあるのではないかな。</p>
<p>・どんな条件でも参加しない人は参加しない(本当に自分が気に入らなければ参加しない)。</p>
<p>・なかなか参加と言うと、行動しにくそうです。1部の人々だけのような…。</p>
<p>・なかなか市民が行政に関わるチャンスが無いように思う。</p>
<p>・何々フォーラムにはよく参加します。高い金額ではなく、話の上手な方、魅力ある内容が地域活動には必要な気がする。</p>
<p>・本当の意味での参加できる制度ができると良い。</p>
<p>・もっと市民の意見を聞ける、少人数の会から始めた方がよいと思えます。</p>
<p>・よく分からない。</p>
<p>・私の地区としては、コミュニティプラザという大きな建物がある。しかし大勢の人が集まって有効利用することはめったにない。少人数の人がカラオケ教室などを時々やっているようであるが、いつも閑散としている。志とある人、人を集めて活動したい人の拠点は天国のように空いているのである。たたき台の(各制度)がないため市民の活動が少ないのではなく、やりたい、やる気のある人が少ないのが問題と思う。やる気のある人ならば、(各制度)がなくても、市長に手紙を出したり町づくり計画の提案等は現状で充分可能と思う。</p>
<p>・私はほとんど参加をしていますが、そのような活動や説明会が行われると思えます。実際に参加するのは関心を持つ限られた人のような気がします。</p>
<p>・会社勤めの為、夕方や夜間だなければ出席出来ません。</p>
<p>・行政は理解をもらえるような丁寧な対応が必要だと思う。面倒で、時間もかかり、心配りも相当必要だが、できるのかな？市民の参加を求めると、市民が仕事から帰ってきた夕方から就寝までの時間などでないと、参加してもらえない場合がある。役所は定刻をすぎているけど、対応できるのかな？</p>
<p>・三つ目の文において、行政は市民が参加できる各制度について、説明する責任、質問に答える責任を持つ。の方がわかりやすいと思う。</p>
<p>・参加できる各種制度は整いつつあるが、参加を促す仕掛けを考える必要があると思えます。</p>
<p>・参加を促すには参加できる各制度とくっつけているイベントはかっくらしい感がある。地域活動(祭り、消防、市民活動)からも参加できるように敷居を低くしたほうが、もっともっと参加しやすいと思う。</p>
<p>・市民が参加し、市民が新城市を作っていくのであって、行政は市民をサポートする体制が望ましいと思えます。なんか、行政が主体で市民がそれに参加していくという感じを文章から受け止められかねません。</p>
<p>・市民が参加できる各制度の違いが分かりにくいと感じました。</p>
<p>・市民の市政への参加にも、それなりの報酬を払うべきである。そうしないと、より良いアイデアが出ない。そして、発言した意見への責任もない気がする。行政の職員さんは、仕事で取組み市民はボランティアでは参加者もやる気をなくすと考える。</p>
<p>・実際行われていて問題ないことがかかれています。良いと思えます。</p>
<p>・制度としては良いと思えますが、市民のモチベーションについても方策を講じた方がいいと思えます。</p>
<p>・話がそれるかとは思いますが、今現在でも、複数の会議等に参加している方々が少しいて、何にも参加しない無関心者が一杯いる！のが現実ではないのでしょうか？どうしたら、より多くの市民が自分達のために、出来ることは何かを考えて呉れるとこうした条例も生きてくるのですね。</p>

市民が主役となるための条件を、市民の視点から次のようにまとめました。

(5) 市民が主役となるために

- ・ 行政や議会は、市民が、意見を言いたいときにはその場を保障する。
- ・ 将来の新城のまちづくりを担う小学生、中学生、高校生などの子どもや若者を大切に、地域で子ども・若者を育てる。
- ・ 行政に過大な依存とならないように、市民の意識改革をする。
- ・ ボランティアだけでは、現在の活動が続かないことを認識し、市民と行政・議会が協働（※2）して人材を育成する。

※2「協働」とは、市民それぞれが、また市民と行政と議会とが対等な関係で協力・連携しまちづくりを行うことである。

Q5 この「市民が主役となるために」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・(1項目)言論の自由は憲法で定められている。発言する場所がなくても投書等手段は多くある。(2項目)大切とか地域で育てるといった抽象的な言葉ではなく、具体的に補助金をいくら出すといった条例にすべきだと思う。(3項目)意識改革となると大変な仕事になると思う。市民は行政にどこまで依存してよいのか、具体的な限界の明記も必要。(4項目)ボランティア活動が続かないのは、どこかに無理や間違いがあるからだと思う。ボランティア活動は、自主的が原則であり、人材育成とは主旨が異なると思う。こうした(たたき台)は、行政担当者が情熱傾けて書いて欲しかった。

・(2項目)「子ども・若者を育てる」ことばは、見下した言い方になります。お互いに学び育っていくようなことだにしてほしいです。(4項目)市民行政が協働していくことは良いが、最初のことばはボランティアの人に大変失礼だと思います。1人ひとり→小さい子から高齢者まで

・「行政に過大な依存・・・」の記述は無くても良いと思う。

・「行政に過大な依存とならないように市民の意識改革をする」という条件はどのような根拠から出ているのかわかりません。判断基準がわかりません。

・「ボランティアだけでは、現在の活動が続かないことを認識し・・・」は、現在、どのような活動がボランティアでまかなわれているのかわからないために、イマイチ共感が持てません。市が予算を取れないが、継続していきたい活動があるのであれば、市民は知っておいた方が良いと思います。「市民が主役になる」という言葉の響きは非常に良いのですが、本文を読んでいると、市政のサービスの低下を容認するような気がして、しっくりきません。また、新城の町づくりの為にはどのような人材を育てる必要があるのかわかりません。政治家候補のような人なのか？大経営者のような人なのか？仁徳のある立派な人なのか？新城市が求める人材に応じて、市民ができることと、行政がしなければならないことでわかるような気がしました。

・1項目：良いと思うが、その場を見つけるのは困難。2項目：子供より大人、大人が自信を持てば子供は自然についてくる。3項目：意識改革・・・言うは簡単だが実行不能。4項目：活動が続くようにするには、行政の機能を委譲する。議会を半減し、その分の予算を活用してもらう。協働して人材育成・・・意味不明。

・4番目の項目については、何のことを言っているのかわかりませんでした。市民が主役になるための条件と関係性が今ひとつよくわかりません。

・Q1と同じ。

・赤線を引かせてもらいましたが、作手地区では子どもたちが遊ぶことができる場所が少なすぎます。なぜ、公園がないのか？岡崎市や名古屋市など土地の少なそうな大都市にはいくつもあのに、土地がありそうな作手はなぜ1つも充実した公園がないのか？対策はして頂けるのか？子ども・若者を育てるために必要など思います。

・あまり具体的ではない。
・意見の場など一部の人のみにはならない様、本当に市民が主役になるためには、弱い立場や高齢者、子どもを持つ親の意見が聞ける事が大切なのではないかと思います。
・意見を言いたい時には、その場を保障する。→具体的に、難しい問題です。
・意見を言う場を保障するのは良い事だが節度も大切である。
・意識改革は本当に大切だと思うので、難しいかもしれないが、自覚するための機会を設けたり、後方などで知らせたりしないと、ただの条例で終わってしまう気がする。
・依存関係ではなく、自立した関係の確保。
・過大な依存という言い方ではなく、あくまで市民の相談役、バックアップするという言い方の方が親しまれるのでは。
・行政に過大な依存→税金からお給料をもらっている市役所の方に、市民はある程度依存するのはあたりまえだと思います。現在の活動が続かないことを意識→ボランティアの人達だけでは何ごともし続けていくことは困難かもしれませんが、この言い方はないと思う。これでは市役所が”ついてこい”と言っているみたいです。市役所の方はボランティアの人達が困っている時にサポートするのが仕事かと思いますが・・・もしこのように考えているなら、ボランティアには参加したくないと思います。
・行政に過大な依存とならないように、市民に意識改革をするとありますが、どういう形でそれを行うのでしょうか？市民が主役となるのには、大きく前に開く第一歩は何をするのでしょうか？
・行政に過大な依存とならないように、市民の意識改革をする。なんて書かない方が良い。この自治基本条例は、市民を主役として責任を負わせる部分が多い。まずは、納税者の過大な負担とならないように行政の意識改革をする。それと、大谷大学や町並情報センターのようなバカげた失敗をしない。
・具体的な例が何も無い。財源についてどうするのが不明
・項2について。若者を育てるとあるが、どうやって？大学進学や就職による地元離れをどうやってくい止めるかが課題だと思う。
・子供が安全に暮らしていけるように心掛けたい。
・子供が主役のイベントをたくさん行い、将来の新城の為地域で子ども・若者を育ててほしい。
・子供達が色んなところで参加できる場を作り、また、意見を大切に受け入れ子供たちが主役で大人達がそれに参加する場があっても良いのでは。最近はずっとした意見を言える、子供も多くなったと思います。
・子供やそれを育てる親、皆の意識改革、本当に必要ですね。皆さん、どこかで他人事で無責任な所がありますから。メリット、デメリット、市の方から提示して頂き市民が意見し考え、創り上げていく市がいいです。
・これで良いと思います。
・実現できるといいですね。一人一人が主役になれるよう、行政がその場を作ってくれたらと思います。
・自分勝手、好き勝手ではなく、国家と市民社会の関係性の中で、意見を言う場を保障する必要があります。
・市民が意見を言いたいときに、その場を保障するのも大切だし、いいやすい環境づくりも大切だと思う。
・市民が主役となって市のためになることがあれば良いと思うが、難しいと思う。
・市民が主役となる為には行政・議会も必要だが、一人一人が努力していかないと市民が主役となることはできないと思う。
・市民が主役なのはいいが、その主役である市民が選んだ議員(議会)の存在価値はどうなるのでしょうか、分かりません。
・市民が主役になりたいけれど、若者の就職先もない新城市では魅力がないと思う。
・市民が主役になる為には、郷土愛が必要だと思います。その為にも、子供達が市内で働ける場所を増やす事を考えてほしいです。

<p>・市民が主役になるのは、しっかりしたリーダーを育て、その方と共に勉強会を作り、長くつづけることが大切ではないかと思う。1年や2年ではなく仲間を作る事から、楽しいことをまじえてボランティアにつづけられたらいいなと思う。</p>
<p>・市民が不公平にならぬよう、行政側がもっと調査活動をする必要が”大”です。(これは行政に過大な依存をしていない行政がやるべき事をきっちりやっていない面が多々ある)行政が市民に参考見本になる背中を見せるべき！！</p>
<p>・市民と行政と議会が対等な関係で協力、連携していけるなら良いと思うのですが・・・具体的に対等な関係というのはどんな関係なのでしょう？</p>
<p>・市民とともに地域の意識改革も大切だと感じた。</p>
<p>・市民の意識改革がスタート地点だと思う。</p>
<p>・市民の意識改革も必要かもしれないが、一緒に実現していくシステムや組織改革も必要ではないか。・現時点で主役となっていない感じが強く、「市民主役の視点」として記述の仕方を工夫したほうが納得できる。</p>
<p>・市民はその自らの意見と行動に責任を持つ。</p>
<p>・市民はどこで意見を言えばいいのか？「公民館でのミーティング」とか「市役所」とか具体的な場所の明記が必要だと思う。「行政に過大な依存とならないように」という文言は、「行政に頼るな！」という印象を与える気がして良くないと思う。</p>
<p>・主役となる市民のモデル像が、はっきりしません。意見が言えて、活動に参加できる人をつくり育てるということでしょうか。個人的には、すべての人がそのような人材になるのは難しいと思いますが、いろいろな人がいて、そのいろいろな人それぞれが尊重される、ということでしょうか・・・。</p>
<p>・主役になる為には、まず市政が魅力的であって欲しい。魅力ある所や街などには自然と人々が集まってくる事と同じだと思う。主役になると言う事は、参加したい！という気持ちにさせる事だと思う。</p>
<p>・上記の通りです。</p>
<p>・将来の期待感がとてもいいと思う。</p>
<p>・将来を担う子供たちに、新城の歴史を学んでもらったり、イベントなどにどんどん参加できるといい。子どもたちが最後まで楽しめるイベント、ボランティアなら、良い思い出として印象に残ると思う。将来、新城に残ってもらえるよう魅力ある新城をどんどん子供たちにアピールするべき。</p>
<p>・将来を担う若者を大切にすることもそうですが、今まで新城を支えてくれた高齢者も大切にすべきだと思います。</p>
<p>・大部分の人は、人任せで自分から行動する事は少ないと思います。役員や当番等の立場が与えられ、どのような活動も大変で、それを行っている人がいる事を知ります。権利ばかり主張したり、他の批判ばかりする日本人が多い中で、人の意識改革、人材育成が一番重要な事だと思います。</p>
<p>・大変よいことです。</p>
<p>・地域で子ども・若者を育てるのは大変だと思いました。</p>
<p>・地域の要望事項に予算をあえて、区行政を自立させる。</p>
<p>・特になし。</p>
<p>・とても良いです。学校も社会の一部。社会があってはじめて存続できる。その社会をたくされているのは大人であるので、子供たちにも「将来の大人」像を伝えながら育てる視点が大切。甘やかすのではなく「育つ」環境にしたいですね。</p>
<p>・とても良い内容だが、現実問題として新城市の人口は5万人を切るのは目前である。そのために、若者が定住したくなるような政策や施策が必要ではないだろうか。</p>
<p>・内容的には良い事が書いてある。(市民が実行出来るか不安である)</p>
<p>・なんか難しく、重圧のような・・・。</p>
<p>・日曜に町並シャッター街になっている。7時にも街路灯しかついてない魅力ある店がないので豊橋豊川浜松に行ってしまう感じ・・・。</p>
<p>・年令と地域の差があるので、その辺を考慮してあまり過大な指導はしない事と思います。</p>
<p>・ボランティアだけでは、正直活動が続きませんので。継続し易い状況を作らないと難しいです</p>

ね。子供達が大好きな新城になるために、色々考えていくことが人材の育成につながるのでは。
・本音を言うと「市民が主役」というよりも主役をうまくあやつる「実行力のある脚本家」を何人も育てていけば必ず行動を起せると思う。
・まだまだ市民が主役にはなれていないと思われる。
・町の道の草など刈る。ゴミなど捨てぬ。新都市を守りたい。1、設楽ダム、第二東名不要の分からぬ行政は信用できない。2、設楽ダム、東名の必要性を住民に聞いたことはない。3、原発の必要性を市民に聞いたことはない。
・八名小では毎年宇利城を見学させ、その地域の歴史の勉強会を開いており、レポートを提出させ大変よい結果を得ているところです。小学校から地元の歴史を勉強させるというのは地元はこんなに素晴らしく、又面白いと感じてもらえたらもっと他に出ていかななくても一肌ぬごうと思う若者が増えるかもしれません。
・良いと思います。(3人)
・理想だと思います。
・老人に話し合いに参加をしてほしいです。人数が一番多いから。記述については賛成です。
・若者を育てるのはいいことです。あとは、育った若者が、市に残りたいような街作りですね。
・私は議会の活動を理解していない。議会は具体的に市に対して、どのような立場で活動していますか？
・意見を述べる場を保障することを免罪符のようにしないように努めることも大事だと思います
・育てる、意識改革。大変な事だけど、いいと思う。
・各行政区単位において繋がりをしっかりと築きあげてゆく必要があると思います。
・子供や若者を大切にするには賛同しますが、いまいる高齢者をどんどん社会に参加させるという考え方もとり入れてほしい。
・市民が協力することはもちろんですが、行政もしっかり対応してくれないとうまくいかないと思います。
・市民が主体となる意識改革は良いことだと思う。難しいと思うけれど、頑張っ欲しい
・市民が主役になるには、仕掛けも必要だと思います。
・市民と行政が協議するという内容が良いと思いました。
・将来のある子供や若者が、新都市のまちづくりに参加していただけるのは、とてもいいことだと思います。
・大いに期待したい部分です。真似事からでも出来たら、意識も変わってくるでしょう
・二つ目の文は、市民が主役になるための条件と関係ないのでは？ そうなる様に教育するというのを伝えたいのであれば、わかりやすく表現した方が良くと思う。話は変わりますが、質問のボリュームに対しタイムアウトの時間が短いです。2倍以上に設定できないでしょうか。